

SNC-EP520/EP521
SNC-ER520/ER521
リリースノート

Ver. 1.82.01

2014/02/27

Visual Security Solutions Business Division,

DIG, Sony Corporation

Release Note

変更履歴

#	リリース日	バージョン	主な変更内容及び、コメント
1	2011/06/30	1.40	初回リリース
2	2011/07/26	1.41	オーディオ出力レベルの問題のみ修正
3	2011/08/09	1.42	特定操作後の通信接続問題のみ修正
4	2011/08/24	1.51	<ul style="list-style-type: none"> 新機能追加 機能制限条件を変更 既知の問題点を更新
5	2012/03/23	1.70	<ul style="list-style-type: none"> 新機能追加 改善した問題点追加
6	2012/05/28	同上	リリースノート記載内容のみの変更 <ul style="list-style-type: none"> 「2. ファームウェアアップグレード」で SNC toolbox のバージョン明記 既知の問題点追加(10.8 と 10.9)
7	2012/07/11	1.74.01	<ul style="list-style-type: none"> Ver.1.74.01 の新機能および改善した問題点を追加 7.11、11.13、12.10 を追加
8	2012/11/05	1.76	<ul style="list-style-type: none"> Ver.1.76 の新機能および改善した問題点を追加 14.10 を追加
9	2012/12/28	1.77.02	Ver1.77.02 の新機能および改善した問題点を追加
10	2013/01/31	1.78	Ver1.78 の新機能および改善した問題点を追加
11	2013/09/27	1.80	Ver1.80 の新機能および改善した問題点を追加
12	2014/02/27	1.82.01	Ver1.82.01 の新機能および改善した問題点を追加

目 次

1. 本リリースバージョンについて	6
1.1. 全般について	6
1.2. 動作環境について	6
1.3. 互換性について	6
2. ファームウェアアップグレード	7
3. Ver. 1.82.01 の新規追加機能について	7
3.1. ONVIF Ver. 13.06 対応	7
4. Ver. 1.80 の新規追加機能について	7
4.1. Windows 8 IE10 対応	7
4.2. ONVIF Ver. 12.12 対応	7
4.3. RTP ストリームへの User Data 付加機能	7
5. Ver. 1.78 の新規追加機能について	7
5.1. 映像2使用設定時の動体検知	7
5.2. G.726 の RFC3551 フォーマット対応	7
6. Ver. 1.77.02 の新規追加機能について	8
6.1. ONVIF Profile S 対応	8
7. Ver.1.76 の新規追加機能について	8
7.1. CGI コマンドによる WS-Discovery 設定	8
8. Ver. 1.74.01 の新規追加機能について	8
8.1. サポートするブラウザ	8
9. Ver. 1.70 の新規追加機能について	8
9.1. プライバシーマスキングエリアの数	8
9.2. ブレ補正	8
9.3. 映像/音声別のマルチキャストアドレス設定	9
10. Ver. 1.51 の新規追加機能について	9
10.1. NTCIP 対応	9
10.2. Connection List	9
10.3. ホワイトバランス設定の「自動(最適)」モード対応	9
10.4. メール機能(「異常送信」)の SD メモリーカード対応	9
11. Ver.1.82.01 で改善した問題点	9
11.1. ファームウェア格納メモリーにおけるデータエラー訂正の能力強化	9
12. Ver.1.80 で改善した問題点	10
12.1. ONVIF における音声のみの Profile 対応	10
12.2. 起動直後の 802.1x 認証が失敗する不具合の修正	10
12.3. ONVIF においてタイムゾーン設定ができない不具合の修正	10
12.4. ONVIF において HTTP の Port 設定変更後の通知ができない不具合の修正	10
12.5. ONVIF における Video Encoder Configuration 対応	10
12.6. Edge Storage の記録性能の改善	10
12.7. RTSP における PLAY の応答に RTP-Info ヘッダ付加	11
13. Ver.1.78 で改善した問題点	11
13.1. 時刻変更時の Edge Storage	11
13.2. ONVIF コマンド SetImagingSettings のパラメータ設定	11
14. Ver.1.77.02 で改善した問題点	11

14.1.	SSL 有効時のストリーミング画像パフォーマンス改善	11
14.2.	MPEG-4 の SDP 修正	12
15.	Ver.1.76 で改善した問題点	12
15.1.	エリアズーム精度改善	12
15.2.	他社クライアントソフトとの接続性改善	12
15.3.	他社クライアントソフトからのプリセット登録問題	12
15.4.	SSL 有効時に alarmdata.cgi が送信されない問題	12
15.5.	動体検知中に alarmdata.cgi が 1/0 を繰り返す問題	12
15.6.	Full Duplex 通信でのスループット低下	12
16.	Ver. 1.74.01 で改善した問題点	12
16.1.	マルチキャスト配信時の応答性改善	12
16.2.	RtpExpire 設定値の反映	12
16.3.	ONVIF コマンド GetVideoSourceConfigurationOptionsRequest に対する応答不具合	13
16.4.	ONVIF コマンド SetVideoEncoderConfiguration に対するエラー応答	13
17.	Ver. 1.70 で改善した問題点	13
17.1.	ビデオコーデックモード設定改善	13
17.2.	Smartphone viewer の Landscape mode 表示不具合	13
17.3.	Smartphone viewer のストリーム受信不具合	13
17.4.	JPEG RTP パケットの Fragment Offset 値不正	13
17.5.	Audio upload 認証エラー時の再接続不具合	13
17.6.	Edge Storage 再生不具合	14
17.7.	メール機能の「異常送信」の継続送信設定	14
17.8.	マルチキャストアドレスのデフォルト値	14
17.9.	プライバシーマスクの表示位置	14
17.10.	プリセットツアー停止直後のプリセット呼び出し	14
17.11.	ONVIF プロトコル接続時のズーム動作不具合	14
18.	Ver. 1.51 で改善した問題点	14
19.	Ver. 1.42 で改善した問題点	14
19.1.	特定の操作を行うと通信出来なくなることがある問題の修正	14
20.	Ver. 1.41 で改善した問題点	15
20.1.	オーディオ出力レベル	15
21.	機能の制限等について	15
21.1.	SNC video player	15
21.2.	動体検知	15
21.3.	プリセット位置のサムネイル表示	15
21.4.	RTSP ストリーミング	15
21.5.	Edge Storage	15
21.6.	カメラ妨害検知	16
21.7.	動体検知	16
21.8.	イメージメモリー	17
21.9.	DynaView (WDR)	17
21.10.	映像 2 コーデックの設定	17
21.11.	フレームレート制限	17
21.12.	JPEG の帯域制限	17
21.13.	動体検知領域の設定	17

22. 既知の問題点について	18
22.1. Safari について	18
22.2. Edge Storage	18
22.3. RTSP.....	18
22.4. カメラ妨害検知	18
22.5. 動体検知	18
22.6. Smartphone viewer での長時間再生	18
22.7. Smartphone viewer での複数ボタンの同時押下	18
22.8. バージョン 1.2.4.0 以前の SNC toolbox によるファームウェアアップグレード	18
22.9. バージョン 1.2.4.0 以前の SNC toolbox によるパノラマ画像の作成	18
22.10. バージョン 1.2.5.0 の SNC toolbox によるファームウェアアップグレード	19

1. 本リリースバージョンについて

1.1. 全般について

本バージョンは、Ver. 1.82.01 になります。

以下の機種が対象となります。

- SNC-EP520 (UCJ)
- SNC-EP521 (CE, CN)
- SNC-ER520 (UCJ)
- SNC-ER521 (CE, CN)
- SNC-ER521C (AR)

詳細内容については、本リリースノートで説明しています。

1.2. 動作環境について

カメラの映像を見たり、制御したりするコンピューターには、次の動作環境が必要です。

- OS
 - Microsoft Windows XP
 - Windows Vista (32bit 版)
 - Windows 7 (32bit 版、64 bit 版)
 - Windows 8 (32bit 版、64 bit 版)
 - 動作検証済みエディション:
 - Windows XP : Professional
 - Windows Vista : Ultimate、Business
 - Windows 7 : Ultimate、Professional
 - Windows 8 : Pro
 - Microsoft DirectX 9.0c 以上
- Web ブラウザ
 - Microsoft Internet Explorer Ver. 6.0、Ver. 7.0、Ver. 8.0、Ver. 9.0
 - Microsoft Internet Explorer Ver. 10.0 (Windows 8 デスクトップモードのみ対応)
 - Firefox Ver.3.5 (Plug-in free viewer のみ対応)
 - Safari Ver.4.0 (Plug-in free viewer のみ対応)
 - Google Chrome Ver.4.0 (Plug-in free viewer のみ対応)
- CPU
 - Intel Pentium 4、2.4 GHz 以上、またはIntel Core 2 Duo、1.8 GHz 以上
- メモリー
 - 1GB 以上
- ディスプレイ
 - 1280 × 1024 画素以上

1.3. 互換性について

本バージョンでは、Edge Storageで記録されたメディア内のデータフォーマットが変更されました。Edge Storageを利用される場合は10.6節を参照してください。また、CGIコマンド、RTSPその他のネットワークプロトコル、ストリーミングに関するデータフォーマットにおける変更はありません。外部接続機器との相互接続性に対してVer1.80との互換性があります。

2. ファームウェアアップグレード

ファームウェアのアップグレードを行う場合は、SNC toolbox(Ver. 1.3.4.0 以降)を使用してください。SNC toolbox が対応するカメラの詳細については、SNC toolbox のリリースノートを参照してください。使用方法に関してはユーザーガイドの“SNC toolbox を使う”を参照してください。

3. Ver. 1.82.01 の新規追加機能について

3.1. ONVIF Ver. 13.06 対応

ONVIF Device Test Tool Version 13.06で適合検証を行っています。

4. Ver. 1.80 の新規追加機能について

4.1. Windows 8 IE10 対応

Windows 8で動作するデスクトップユーザーインターフェース版のInternet Explorer10 (IE10) に対応しました。また、Windows 8のスタート画面から起動されたIE10、およびWindows 7版のIE10での動作確認は行っておりません。

4.2. ONVIF Ver. 12.12 対応

ONVIF Device Test Tool Version 12.12で適合検証を行っています。

4.3. RTP ストリームへの User Data 付加機能

RTPストリームへ UserData を付加できる機能を追加しました。

CGIのカテゴリに userdata.cgi を追加し、パラメータ RTPUserData の値を on へ変更することで有効にできます。

http://ip_adr/command/userdata.cgi?RTPUserData=on

本機能に関する詳細はCGIコマンド説明書を参照してください。

5. Ver. 1.78 の新規追加機能について

5.1. 映像2使用設定時の動体検知

映像2のコーデック使用設定時にも動体検知機能を使用できるようにしました。この時、映像2にスーパーインポーズは表示できません。

5.2. G.726 の RFC3551 フォーマット対応

G.726音声コーデックフォーマットを従来のITU-Tフォーマットに加え、RFC3551フォーマットにも対応しました。通常ONVIF接続時にはRFC3551フォーマットが選択されます。

次のように2つのフォーマットはストリーミング取得時のURIにより指定できます。

- ITU-Tフォーマット

rtsp://ip_adr/media/video1

または

rtsp://ip_adr/media/video1?g726=itu-t

- RFC3551フォーマット

rtsp://ip_adr/media/video1?g726=rfc3551

RFC3551 フォーマット使用時のオーディオストリーミングポート番号は次の CGI パラメータで指定できます。

- ユニキャスト: RTSPUcAudioG726RfcPort (デフォルト 51004)
- マルチキャスト: RTSPMcAudioG726RfcPort (デフォルト 61004)

6. Ver. 1.77.02 の新規追加機能について

6.1. ONVIF Profile S 対応

ONVIF Profile Sに対応しました。ONVIF Device Test Tool version 12.06で適合検証を行っています。

7. Ver.1.76 の新規追加機能について

7.1. CGI コマンドによる WS-Discovery 設定

CGIコマンドの設定によりONVIFで使用するWS-Discoveryプロトコルを作動させないように出来ます。この時、239.255.255.250宛のマルチキャストJoinメッセージは起動時に発行されません。

http://ip_addr/command/system.cgi?WsDiscovery=off

詳細は CGI コマンド説明書を参照してください。

8. Ver. 1.74.01 の新規追加機能について

8.1. サポートするブラウザ

Microsoft Internet Explorer Ver. 9.0に対応しました。

Windows 7 で動作検証を行っています。

9. Ver. 1.70 の新規追加機能について

9.1. プライバシーマスキングエリアの数

設定可能なプライバシーマスクのエリア数を最大 8 か所から 12 か所にしました。

[注意]

プライバシーマスクは 12 か所設定できますが、同じ画面内に同時に表示出来るのは最大 8 か所です。画面内に 9 か所以上のマスクが設定されている場合は、番号の小さなマスクから優先的に表示されます。

SNC toolbox から 9 か所以上のマスクを設定する場合には version 1.2.5.0 以降をお使いください。

9.2. ブレ補正

ブレ補正機能に追加しました。設定は[設置]タブから行うことができます。本機能を有効にすると、振動のある場所に設置したときに揺れの少ない映像を表示できます。

SNC toolbox から設定変更する場合には、version 1.2.5.0 以降をお使いください。

[注意]

- ・ [ブレ補正] を[オン]に設定すると、撮影される画角が約 20% 小さくなります。
- ・ 振動によっては、[ブレ補正]を[オン]にしても補正が効かない場合があります。

- ・ パン・チルト・ズーム動作を行った後は、補正の効果が現れるまでしばらく時間がかかります。

9.3. 映像/音声別のマルチキャストアドレス設定

映像 1、映像 2、音声ごとに個別のマルチキャストアドレスを設定および配信することを可能にしました。

詳細は CGI コマンド説明書を参照してください。

[注意]

本機能は ActiveX viewer、設定画面、SNC toolbox からは使用できません。

10. Ver. 1.51 の新規追加機能について

10.1. NTCIP 対応

NTCIP(National Transportation Communications for ITS protocol)は、米国で標準化されている交通監視用のプロトコルです。米国VidSys社製のVidShieldソフトからプリセット登録及び呼び出し、PTZ制御等が行えます。

管理者設定メニューに本機能に関する設定項目はありません。

10.2. Connection List

ストリーミングの配信先に関する情報を取得するための機能です。どのクライアントがストリーミングを受信しているかを知るために使用します。

ストリーミング配信先のIPアドレス及びポート番号、HTTPあるいはUDP等の使用されているプロトコル、H.264等のメディアの種類等の詳細情報をセッション毎に取得することが出来ます。

cgiコマンドで対応しています。管理者設定メニューに本機能に関する設定項目はありません。

本機能に関する詳細はCGIコマンド説明書を参照してください。

10.3. ホワイトバランス設定の「自動(最適)」モード対応

ホワイトバランスの設定に「自動(最適)」モードを追加しました。本モードを選択すると、人の見た目に近い色再現を自動で調整します。高圧ナトリウムランプ下では、ナトリウムランプモードに自動的に切り換わります。

10.4. メール機能(「異常送信」)の SD メモリーカード対応

メール(SMTP)の「異常送信」に「SD メモリーカード」を追加しました。SD メモリーカードへの記録や読み出しが正常に行われなかった場合、メールを送信します。

11. Ver.1.82.01 で改善した問題点

11.1. ファームウェア格納メモリーにおけるデータエラー訂正の能力強化

メモリーの一部の領域でデータが壊れた場合に、電源をOFF/ON、もしくはリブートした後に、機器が起動しない、一部の機能が正常動作しない等の症状が発生する可能性があります。

このため、エラー訂正能力を強化しました。

(Ver.1.40 からの問題)

12. Ver.1.80 で改善した問題点

12.1. ONVIF における音声のみの Profile 対応

ONVIFにおいて音声のみのProfileが作成された場合、GetStreamUriコマンドに対してBadRequestを返していましたが、URIを返すように修正しました。

(Ver.1.77 からの問題)

12.2. 起動直後の 802.1x 認証が失敗する不具合の修正

802.1x認証機能付きのPoE Hubとの接続において、起動時に802.1x認証が失敗する不具合がありました。本バージョンにて修正しました。

(Ver.1.40 からの問題)

12.3. ONVIF においてタイムゾーン設定ができない不具合の修正

ONVIFにおいて、CET-1、IDLWのタイムゾーン設定ができなかったため、修正しました。また、GMTからのオフセット時間設定もできるように修正しました。(例えば、US、CANADAは「GMT-5」のように設定できます。ただし、分、秒単位のオフセット設定は対応していません。)

(Ver.1.40 からの問題)

12.4. ONVIF において HTTP の Port 設定変更後の通知ができない不具合の修正

デフォルト値と異なるPort番号が設定されている場合、ONVIFにおけるDevice Service AddressのPort番号付与ができていなかったため、変更後のPort番号を付与するように修正しました。

(Ver.1.40 からの問題)

12.5. ONVIF における Video Encoder Configuration 対応

ONVIFにおいてVideo Encoder Configurationによる映像2側の問い合わせ、および設定ができない不具合がありました。同不具合に対して、映像1に依存して決定する映像2の設定パラメータを算出し、問い合わせへの応答、および設定ができるように修正しました。

また、RTSP セッションタイムアウト設定もできるように修正しました。(PTxxHxxMxxS表記の対応、および600秒を超える場合は、最大値の600秒として設定するようにしました。)

(Ver.1.40 からの問題)

12.6. Edge Storage の記録性能の改善

メディアへのデータ書き込みが正常に行われない場合があります。

同症状が発生した場合、メディアエラーを検知し記録が停止してしまいます。

この症状に対し、メディアへ書込むデータ形式の変更を伴う修正で対応を行いました。

(Ver.1.40 からの問題)

[ご注意]

記録済みデータは新しいデータ形式へ変換することが出来ません。

本バージョンでも、メディアによっては 1 秒近く記録できない症状が稀に発生します。

以前のファームウェアから本バージョンにアップグレードして、引き続き Edge Storage をお使いになるお客様は、下記の手順に従って下さい。

- 1) Edge Storage 機能とイメージメモリー機能を停止する。

- 2) メディア内の記録済みデータのバックアップを行う(後述)。
- 3) ファームウェアをアップグレードする。
- 4) メディアを本機にてフォーマットする(記録済みデータは全て消去されます)。
- 5) Edge Storage 機能とイメージメモリー機能を再開する。

メディア内の記録済みデータは以下のいずれかの方法でバックアップして下さい。

- a) RTSPストリーミング可能なレコーダーで、メディア内の映像データをストリーミング再生し保存する。
- b) 本機のFTPサーバー機能をオンにし、メディア内のデータをクライアントへコピーする。※
- c) 本機の電源を切った後、メディアを本機から取り出し、メディア内のデータをコンピューター等へコピーする。※

※ b)、c) の場合、コピーした映像データ(*.mafファイル)は、SNC video playerで再生可能です。

バックアップ前にファームウェアアップグレードを行ってしまった場合には、元のファームウェアバージョンに戻してから上記手順に従って下さい。メディア内に古いデータ形式のファイルを検出した場合は、スーパーインポーズにて“FORMAT MEDIA PLEASE”と表示されます。また、システムログにおいてもフォーマットを促すメッセージが表示され、Edge Storageの再開はできません。

12.7. RTSP における PLAY の応答に RTP-Info ヘッダ付加

RTSPにおけるPLAYの応答において、RTP-Infoヘッダを付加できるように修正しました。下記のCGIコマンドにおいて、RTPInfo/パラメータをonすることで付加されます。(デフォルトはoffでなし。)

http://ip_adr/command/camera.cgi?RTPInfo=on

本機能に関する詳細はCGIコマンド説明書を参照してください。

(Ver.1.40 からの問題)

13. Ver.1.78 で改善した問題点

13.1. 時刻変更時の Edge Storage

夏時間などによる時刻変更が発生するとEdge Storage機能の記録が停止することがある問題がありましたので修正しました。

(Ver.1.40 からの問題)

13.2. ONVIF コマンド SetImagingSettings のパラメータ設定

ONVIFコマンドSetImagingSettingsで指定するBrightness及びColorSaturationのパラメータを小数で指定すると、“HTTP/1.1 400 Bad Request”の応答が返る問題がありましたので修正しました。

(Ver.1.40 からの問題)

14. Ver.1.77.02 で改善した問題点

14.1. SSL 有効時のストリーミング画像パフォーマンス改善

SSL有効時のストリーミング画像のフレームレートを従来よりも向上させました。

(Ver.1.40 からの問題)

14.2. MPEG-4 の SDP 修正

RTSPで使用されるMPEG-4のSDP(Session Description Protocol)情報の最後に余分なデータ4バイトが付加されていたので削除しました。

(Ver.1.40からの問題)

15. Ver.1.76 で改善した問題点

15.1. エリアズーム精度改善

エリアズーム操作を行った際の位置精度を従来より改善しました。

(Ver.1.40 からの問題)

15.2. 他社クライアントソフトとの接続性改善

Genetec製Omnicastクライアントソフトとの接続が切れてしまうことがある問題がありましたので修正しました。

(Ver.1.40 からの問題)

15.3. 他社クライアントソフトからのプリセット登録問題

NICE製クライアントソフトからプリセット登録できない問題がありましたので修正しました。

(Ver.1.40 からの問題)

15.4. SSL 有効時に alarmdata.cgi が送信されない問題

SSL有効時にalarmdata.cgiが送信されない問題がありましたので修正しました。

(Ver.1.40 からの問題)

15.5. 動体検知中に alarmdata.cgi が 1/0 を繰り返す問題

動体検知中にもかかわらずalarmdata.cgiが検知/非検知を示す1/0を繰り返す問題がありましたので修正しました。

(Ver.1.40 からの問題)

15.6. Full Duplex 通信でのスループット低下

CGIコマンドによりイーサネット通信モードを 10Mbps または 100Mbps の Full Duplex 固定に設定すると、ネットワークスループットが低下する問題がありましたので、修正しました。

(Ver.1.40 からの問題)

16. Ver. 1.74.01 で改善した問題点

16.1. マルチキャスト配信時の応答性改善

マルチキャスト配信時のCGIコマンドに対する応答性を改善しました。

(Ver.1.40からの問題)

16.2. RtpExpire 設定値の反映

CGIコマンドRtpExpireの値を変更した場合、リブートを伴わないと反映されないという問題がありましたので修正しました。

この修正により、リブートは不要となり、RtpExpireの値を変更した際に反映されるようになります。

(Ver.1.40 からの問題)

16.3. ONVIF コマンド GetVideoSourceConfigurationOptionsRequest に対する応答不具合
ONVIF コマンド GetVideoSourceConfigurationOptionsRequest で Config.Profile の指定無しの時
GetVideoSourceConfigurationOptionsResponse に VideoSourceTokenAvailable フィールドが無い不
具合を修正しました。
(Ver.1.40からの問題)

16.4. ONVIF コマンド SetVideoEncoderConfiguration に対するエラー応答
ONVIF コマンド SetVideoEncoderConfiguration 要求に対して、“HTTP/1.1 500 Internal Server
Error”の応答が返ることがありましたので修正しました。
(Ver.1.40 からの問題)

17. Ver. 1.70 で改善した問題点

17.1. ビデオコーデックモード設定改善

ビデオコーデックモードのフレームモードまたはビットレートの設定が行われた際に、変更が反映
されるまでに約 3 秒間程度要していましたが、今回の改善により変更反映時間を約 1/10 程度に
短縮しました。

(Ver. 1.40 からの問題、Ver. 1.70 にて対策)

17.2. Smartphone viewer の Landscape mode 表示不具合

Smartphone viewer 使用時、Landscape mode で表示した際に画面下部が表示されない問題があ
りましたので、修正しました。アスペクト比を保持したまま表示領域内に全画面を表示しますで、
左右に黒帯が表示されることがあります。

(Ver. 1.40 からの問題、Ver. 1.70 にて対策)

17.3. Smartphone viewer のストリーム受信不具合

Smartphone viewer 使用時、ネットワークメニューの「HTTP ポート番号」を既定値の 80 番以外に変
更するとストリームを受信出来ない問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.40 からの問題、Ver. 1.70 にて対策)

17.4. JPEG RTP パケットの Fragment Offset 値不正

JPEG の RTP パケットヘッダ部の Fragment Offset 値が RFC 規定値と異なっている問題がありま
したので、修正しました。

互換性保持のために従来と同じ値で使いたいクライアントのために次の CGI コマンドを用意しま
した。

http://ip_adr/command/camera.cgi?RTPMJPEGOOffset=off

詳細は CGI コマンド説明書を参照してください。

(Ver. 1.40 からの問題、Ver. 1.70 にて対策)

17.5. Audio upload 認証エラー時の再接続不具合

Audio upload の接続時に認証エラーが発生してもカメラ側からコネクションをクローズしていなかつ
たため、クライアントが同じコネクションを使用して再接続する場合に失敗していた問題をカメラ側
からコネクションをクローズするようにして修正しました。

なお、SNC audio upload tool ではクライアントからコネクションを切断しているため従来よりこの問

題は発生しません。

(Ver. 1.40 からの問題、Ver. 1.70 にて対策)

17.6. Edge Storage 再生不具合

Edge Storage で指定された再生開始時刻と停止時刻によっては再生出来ないことがある問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.40 からの問題、Ver. 1.70 にて対策)

17.7. メール機能の「異常送信」の継続送信設定

メール(SMTP)メニューの異常送信において継続送信をオンにしても、SD メモリーカードに関するアラームは異常を検知した際に一度しか送信されない問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.51 からの問題、Ver. 1.70 にて対策)

17.8. マルチキャストアドレスのデフォルト値

マルチキャスト配信機能で使用するアドレスのデフォルト値が RFC3171 で Local Network Control Block として割り当てられている 224.0.0.200 となっていましたので、これを 239.192.0.200 に変更しました。

(Ver. 1.40 からの問題、Ver. 1.70 にて対策)

17.9. プライバシーマスクの表示位置

オートフリップ機能の有効時にリブートを行うと、プライバシーマスクが正しく表示されない場合があるという問題がありましたので修正しました。

(SNC-ER520/ER521 Ver. 1.40 からの問題、Ver. 1.70 にて対策)

17.10. プリセットツアー停止直後のプリセット呼び出し

プリセットツアー停止直後にプリセット呼び出しを行うと、カメラのプリセット移動が正常に実行されないことがあるという問題がありましたので修正しました。

(Ver.1.40 からの問題、Ver. 1.70 にて対策)

17.11. ONVIF プロトコル接続時のズーム動作不具合

ONVIFプロトコル接続時のズーム操作で、TELE移動させた後に再度TELE移動させようとした場合、またはWIDE移動させた後に再度WIDE移動させようとした場合に動作しない問題がありましたので、修正しました。

(Ver1.40 からの問題、Ver1.70 にて対策)

18. Ver. 1.51 で改善した問題点

本バージョンで改善した問題点はありません。

19. Ver. 1.42 で改善した問題点

19.1. 特定の操作を行うと通信出来なくなることがある問題の修正

リセットスイッチを使用して工場出荷時の設定に戻した場合、またはイーサネットポートの通信速度を変更した場合に、通信出来なくなることがありましたので修正しました。

(Ver. 1.40 からの問題、Ver. 1.42 にて対策)

[補足]

- 上記修正に伴い、上記の操作をおこなった際にイーサネットポートのリンク状態をダウンしないようにしました。
- イーサネットポートの通信速度は、network.cgi コマンドの PhySpeed パラメータにて設定することが出来ます。

20. Ver. 1.41 で改善した問題点

20.1. オーディオ出力レベル

ライン出力端子からオーディオを出力する場合に、出力レベルが低下することがあるという問題がありましたので修正しました。

(Ver. 1.40 からの問題、Ver. 1.41 にて対策)

21. 機能の制限等について

21.1. SNC video player

SNC video player で再生するファイルが保存されているフォルダ名の最後の文字が数字である場合、正常に再生できない場合があります。その場合にはフォルダ名の最後の文字を数字以外にしてください。

21.2. 動体検知

PTZ制御、プリセット移動中は、動体検知を停止させています。PTZ制御、プリセット移動完了後、しばらくたってから動体検知が再開します。

21.3. プリセット位置のサムネイル表示

ファームウェアのアップグレード時には、プリセット位置のサムネイル表示は引継がれません。

21.4. RTSP ストリーミング

RTSPストリーミングはパフォーマンス上の制約があるため、以下の設定を推奨します。

H.264/MPEG4を使用する場合は、以下の通り

- HTTP, RTPを含めた同時接続セッション数:2
- 接続ビットレートの合計:4Mbps以下

JPEGを使用する場合は、以下の通り

- HTTP, RTPを含めた同時接続セッション数:1
- フレームレート:10fps以下
- 画質設定:Level 4以下
- 画サイズ:VGA以下

21.5. Edge Storage

Edge Storage 録画中に設定変更を行うと、録画が一時中断することがあります。

Edge Storage 機能を使用する時は、Image Memory, FTP クライアントを使用しないでください。

- Image Memory: 共通タブの[記録機能]をオフ、アラームタブの[アラーム記録]をオフ、定

期設定タブの[定期記録]をオフにしてください

- FTPクライアント: 共通タブの[FTPクライアント機能]をオフ、アラーム送信タブの[アラーム送信]をオフ、定期送信タブの[定期送信]をオフにしてください

Edge Storage 機能を使用する時は、メールのファイル添付を使用しないでください。

- アラーム送信タブの[ファイル添付]をオフ、定期送信タブの[定期送信]をオフ

Edge Storage 機能はパフォーマンス上の制約があるため、以下の設定を推奨します。

- ビデオコーデック: 映像2をオフ
- 画サイズは: VGA以下
- H.264/MPEG4を使用する場合は、以下の通り
 - ✧ ビットレート設定: 2Mbps以下
 - ✧ フレームレート: 15fps以下
- JPEGを使用する場合は、以下の通り
 - ✧ フレームレート: 10fps以下
 - ✧ 画質設定: Level 4 以下
- カメラ妨害検知: オフ
- 動体検知: 設定しない

SD メモリーカードに保持可能な録画件数は、最大 500 です。上書き設定がオフの場合、エントリー数が 500 になった時点で新規の記録は停止します。上書き設定がオンの場合、エントリー数が 500 になると古いエントリーから上書きれます。

21.6. カメラ妨害検知

カメラ妨害検知機能はパフォーマンス上の制約があるため、以下の設定を推奨します。

- H.264/MPEG4を使用する場合は、以下の通り
 - ✧ ビットレート設定: 2Mbps以下
 - ✧ フレームレート: 15fps以下
- JPEGを使用する場合は、以下の通り
 - ✧ フレームレート: 10fps以下
 - ✧ 画質設定: Level 4 以下
- Edge Storage: オフ
- 動体検知: 設定しない

[補足]

「画サイズは VGA 以下」という項目を削除しました。

21.7. 動体検知

動体検知機能はパフォーマンス上の制約があるため、以下の設定を推奨します。

- H.264/MPEG4を使用する場合は、以下の通り
 - ✧ ビットレート設定: 2Mbps以下
 - ✧ フレームレート: 15fps以下
- JPEGを使用する場合は、以下の通り
 - ✧ フレームレート: 10fps以下
 - ✧ 画質設定: Level 4 以下
- Edge Storage: オフ
- カメラ妨害検知: 設定しない

[補足]

「画像サイズは VGA 以下」という項目を削除しました。

21.8. イメージメモリー

イメージメモリー機能はパフォーマンス上の制約があるため、以下の設定を推奨します。

- H.264/MPEG4を使用する場合は、以下の通り
 - ✧ ビットレート設定: 2Mbps以下
 - ✧ フレームレート: 15fps以下
- JPEGを使用する場合は、以下の通り
 - ✧ フレームレート: 10fps以下
 - ✧ 画質設定: Level 4 以下

[補足]

「画像サイズは VGA 以下」という項目を削除しました。

21.9. DynaView (WDR)

DynaView がオンに設定されている場合、露出補正による画質調整は出来ません。露出補正を行う場合は DynaView をオフに設定してください。

また 1/30 秒より遅いシャッタースピードを設定されている場合、DynaView がオンに設定されていても動作しません。DynaView 機能を有効にする場合はシャッタースピードを 1/30 秒以上にしてください。

21.10. 映像 2 コーデックの設定

映像 2 コーデックを使用する場合、映像 1 コーデックのフレームレートを 15fps 以下に設定してください。

21.11. フレームレート制限

コーデックの処理能力のために、ストリーム数などの使用条件によっては、実際のフレームレートが設定値より小さくなる場合があります。

21.12. JPEG の帯域制限

JPEG の帯域制限機能は TCP 通信に対してのみ有効です。

21.13. 動体検知領域の設定

CGI コマンドを使用して動体検知の検知領域を 180 度以上の内角を持つように設定すると、正しく検知されない場合があります。設定画面からの設定時と同じように全ての内角が 180 度未満になるように検知領域を設定してください。

22. 既知の問題点について

22.1. Safari について

Safari4 または 5 にて Plug-in free viewer のストリーム方法にて JPEG を使用した場合は、メモリー使用量が増加し、Safari が異常停止することがあります。長時間の連続再生を行う場合は、ストリーム方法を JPEG Flash で使用するか、他のブラウザをご使用ください。

22.2. Edge Storage

推奨設定以上の設定で使用する場合、ストリームの再生が出来ない場合があります。

記録中に追いかけて再生を行うと、再生が記録に追いつく場合があります。その時は、再生が停止します。

映像と音声を記録しているファイルを再生する際、映像と音声の同期が取れない場合があります。

22.3. RTSP

推奨設定以上の設定で使用する場合、機器が再起動することがあります。

22.4. カメラ妨害検知

推奨設定以上の設定で使用する場合、機器が再起動することがあります。

22.5. 動体検知

推奨設定以上の設定で使用する場合、機器が再起動することがあります。

22.6. Smartphone viewer での長時間再生

カメラのビデオコーデックにおいて大きな画像サイズが設定されている場合、長時間ビューアーを開いているとビューアーが停止することがあります。その際は再度ビューアーを起動し直してください。

22.7. Smartphone viewer での複数ボタンの同時押下

Xperia™ arc では、PTZ ボタンを複数個同時に押すとカメラの PTZ 動作が動き続けることがあります。動作を止めるには、押したボタンのいずれかを再度押し直してください。

22.8. バージョン 1.2.4.0 以前の SNC toolbox によるファームウェアアップグレード

Ver.1.70 以降のファームウェアが搭載されたカメラは、バージョン 1.2.4.0 以前の SNC toolbox を使用してファームウェアをアップグレードすることができません。ファームウェアをアップグレードしたい場合は、バージョン 1.2.5.0 以降の SNC toolbox をお使いください。

22.9. バージョン 1.2.4.0 以前の SNC toolbox によるパノラマ画像の作成

Ver.1.70 以降のファームウェアが搭載されたカメラは、バージョン 1.2.4.0 以前の SNC toolbox を使用してパノラマ画像を作成することができません。パノラマ画像を作成したい場合は、バージョン 1.2.5.0 以降の SNC toolbox をお使いください。

22.10. バージョン 1.2.5.0 の SNC toolbox によるファームウェアアップグレード

バージョン 1.2.5.0 の SNC toolbox においては、デフォルト値以外のユーザー名、パスワードの設定がファームウェアアップグレード後に保持されていない不具合が見つかりました。ファームウェアをアップグレードしたい場合は、バージョン 1.2.6.0 以降の SNC toolbox をお使いください。